

# 宮崎まちづくり活動団体情報

VOL **2**

## 宮崎学区地域づくりの会は、「宮崎まちづくり協議会」に名称変更しました。

### 【まちづくり協議会とは】

まちづくり協議会は、地域の課題を解決するため、自治会地域を活動単位として、地域内の各種団体やボランティア有志などで構成される話し合いの場、活動組織です。岡崎市では、各小学校区の町内会や各種団体、住民が連携して、各種団体だけでは解決できない問題や課題について取り組み、まちづくりを進める新しいコミュニティ組織「まちづくり協議会」を設立しています。

### 【まちづくり協議会の活動とは】

まちづくり協議会は、市民が実際に活動するための方法や組織を確立するものです。地域が主体的にまちづくりを進め、補完性の原則の下で、みんなで協力し合う公共分野について担うことのできる「自治的地域コミュニティ」の形成に向けて、地域の中心的な機能となるものです。

※補完性の原則:「身の回りの問題は、まず個人や家庭が解決にあたり、個人や家庭で解決できない問題は地域で解決し、それもできない問題は行政が解決する」という考え方

【まちづくり協議会への参加】希望する方はだれでも入会できます。入会希望の方は、「入会申し込み書」を提出してください。用紙は、総代さんにお申し出ください。

### 【まちづくりとは】

一般に道路や公園の整備などハード面の「まちづくり」を思い浮かべがちですが、健康づくりやリサイクルなどソフト面までを含めた、市民の皆さんの暮らしや地域などをより良いものにするための取り組みが「まちづくり」です。「まちづくり」には、市が行うまちづくりと、市民の皆さんが自発的・主体的に取り組むまちづくり、そして市民同士または市民と行政の協働のまちづくりがあります。

### 【まちづくりが大切なわけ】

都市化や生活環境の変化、個人の価値観の多様化あるいは居住者の流動化が進む中、地域コミュニティが希薄化してきました。一方、防災・防犯をはじめ、地域の皆さんが連帯しお互いに助け合うことの重要性が、ますます高まっています。このような中、地域課題の解決に向けて、自治会や各種団体などお互いの理解を深め、協力して地域課題の解決を図ることが求められています。

## 【分科会 1】サイクリング部会

### サイクリングの郷づくり実行委員会 (委員長 山口和雄さん)

#### ○「ご協力に感謝し、新たな一歩をめざして」

昨年6月に発足した委員会ですが、多くのご協力をいただき、大きな実績を残すことができました。ひとつは、くらがり溪谷と宮崎橋付近に「宮崎サイクリングの郷」の看板を設置したことです。これは、宮崎学区総代会のご厚意により「岡崎市地域協働推進事業費補助金」を活用させていただきました。もうひとつは、サイクルスタンドを2台提供していただいたことです。これは「岡崎市ぬかたブランド協議会」のご協力により、岡崎森林組合が製作してくれたもので、くらがり溪谷などに設置していこうと考えています。今後、各方面のご協力をいただいて、喫茶店や店舗、魅力あるスポットなどで、設置台数を増やしていきたいと考えています。



新たな取り組みとして、宮崎学区を巡るサイクリングマップを作る活動を準備しています。若手のサイクリストに様々なコースを走ってもらって、標高、走行距離などが一覧できるようなマップになると良いと考えています。サイクリングを楽しむ人たちにとって、この宮崎の地は他に見られない「絶好の坂」がある地域だと聞きます。住民である私たちも地域を見直し、地域の価値を再確認する意味で、くらがり溪谷だけでなく、万足平、みつわ湖、巴山など、魅力あるスポットを盛り込んだマップになると良いと考えています。

2年目となる宮崎サイクリングの郷づくりは、新たな展開を求めて、若い人たちや学区外の意欲のある人などに協力を求めています。折しも2019年度から「宮崎会」が変わります。活動に賛同する人ならだれでも参加できる「まちづくり協議会」となります。この「宮崎サイクリングの郷づくり実行委員会」はそのまま残しながら、実際にサイクリングで活動できる実働組織を設置していこうと考えています。



## 【分科会2】くらがり活性化部会

### くらがり活性化実行委員会（委員長 加山 茂さん）

#### 〇くらがり溪谷癒しのプロジェクト

くらがり溪谷では、4月28日の営業開始日に向けて従業員と碧水会役員で準備しています。3月3日、第一駐車場にくらがり活性化委員会メンバーと地元有志で『ヒガンバナの球根』を植え



付けました。シーズンを楽しみにしています。3月15日にはシルバーの会員さんに溪谷内の清掃をしていただき大変助かりました。それぞれの皆様ありがとうございました。これからも地元の人たちに愛されるくらがり溪谷を目指して、小さなことからコツコツと進めて参ります。今年も、園児や児童を招いてマツかみや、学区マ釣り大会など地元の人たちとのふれあいをもてる事業計画を予定しております。くらがり溪谷の入口にあるトイレが洋式になり、子ども達やお年寄りにも利用しやすくなりました。また、支障木の伐採が出来て景観がよくなりました。今年も続けて環境整備に努めていきます。

## 【分科会3】農林業活性化部会

### JA宮崎支店活用検討委員会（委員長 杉浦 傑さん）

#### 〇地域住民の利便性の向上を検討

JA 統廃合のあおりを受けて、宮崎支店が取次店となりました。金融異動車が地域を回っていると言っても、やはり不便さは残ると思います。また、食料・雑貨の店舗も3年後には閉鎖される方向で進んでいます。



高齢化が進む宮崎地区にとっては、大変深刻な問題の一つであると考えています。新しく改組された「宮崎まちづくり協議会」で、さらに検討していきたいと思っております。

JAの宮崎店舗を利用した定期的なイベントの開催や、さらに利用しやすい移動購買車となるような方策など、いろいろな角度からJAの力も借りながら考えていきたいと思っております。

この委員会だけでは限界がありますので、地域の皆様方のご意見やご希望も参考にさせていただきたいと思っておりますので、宮崎まちづくり協議会へご連絡ください。よろしくお願ひいたします。

## 【分科会4】歴史文化部会

### 歴史文化探訪委員会（委員長 清水 力さん）

#### 〇委員長に就任した清水です

宮崎会の年度末総会において、歴史文化探訪委員会のグループリーダーに選任された雨山町の清水力です。地元を振り返ってみると、少子高齢化が高水準で進み人口減少が著しい状態に

あり、危機感を抱いています。この地区で、人口減少に歯止めをかけるべく、何かできることはないかと常々考えております。私は、この地区の歴史を調査し、この地区ならではの魅力を発見し、人口増加に繋がるようなものを発信していけたら最高だと思います。興味のある方々の知恵を結集し、地域の皆さんと協力して新たな歴史を発見出来たら素晴らしいことです。今後の活動として平成31年度は、毎月第2木曜日の午後7時から市民ホームで委員会の開催を予定しています。宮崎地区の歴史に興味のある方の参加を歓迎します。

## 【分科会5】教育環境部会

### 子どもの居場所づくり委員会（委員長 鈴木久義さん）

#### 〇指導員の確保にご協力ください

平成31年度事業として4月22日から「宮崎学区放課後子ども教室」が宮崎保育園で始まる予定です。この施設は、母親の皆さんから強い要望があり、「こどもの家や育成センター」の無い学区である宮崎学区を対象とする居場所づくりの一環です。現在開所に向けて準備を進めていますが、指導員の確保に苦慮している状況にあります。



このまま推移すると22日開所が、大変難しい現実となっています。4人の指導員（1人は内定）が必要であり、施設の趣旨をご理解いただき指導員の配置にご協力をお願いします。詳細は鈴木久義（090-7032-2854）まで連絡してください。

#### お知らせ

### ぬかたブランド協議会活動報告

#### 〇農山漁村振興交付金（山村活性化対策）を活用した取り組みです。

平成30年度より、額田地域において所得の向上や雇用の増大に向けて、地域内の農林水産物等の地域資源の潜在的な力を活用し、商品化や販売促進の取り組みを推進しています。昨年好評だった「かき氷街道」を企画したかき氷部会。鮎・自然薯・山菜部会。木材等の有効活用や製品化を目指す木材部会。耕作放棄地にヨモギを栽培し製品開発をする薬草部会。また、額田地域の農林水産物や加工品にブランドマークを施し、情報発信を行っています。

#### 「宮崎まちづくり活動団体情報」への投稿

※皆さんの活動を紹介します。ご連絡ください。

編集・発行：宮崎まちづくり協議会

発行責任者：会長 梅村順一 電話：0564-83-2034

e-mail: uj@umekin.jp